

授業科目名	保育内容表現 I		担当教員名	河野 佑美
必修/選択	必修	開講学年・学期	2年 通年 (年間開講数 1講座)	
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (60時間)	
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む) 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1/2)	授業方法/担当形態	演習 / 単独	
		特記事項		
授業の概要及び全体目標	幼児の表現をいかに導き、受け止められる保育士になるために、保育者自身の音楽表現力を養う。楽器の正しい演奏法、効果的な指導法を身に付ける。			
到達目標	<p>年齢に応じた幼児の音楽表現とその活動についての考え方を理解し、実践的な体験を通して感じる心を養い、音楽表現活動の指導法を学ぶ。/器楽合奏を通して簡易楽器の理解・演奏技術を習得する。</p> <p>1-保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>(1)各領域のねらい及び内容：幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。</p> <p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</p> <p>②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</p> <p>④領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</p> <p>③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>⑤各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p> <p>2-保育内容演習</p> <p>(1)養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</p> <p>(2)子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点 (「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」)と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域 (「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について具体的に理解する。</p> <p>(3)上記2に示した保育の内容の視点及び領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育に当たって保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。</p> <p>(4)子どもの発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程 (計画・実践・記録・省察・評価・改善) の実際について理解する。</p>			
テキスト	保育者をめざす 楽しい音楽表現 高御堂愛子・植田光子・木許隆 監修・編著 / 自主プリント			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)			
成績評価の方法	内容の知識理解：定期試験(実技試験・点検チェック) 60% 学習への興味関心：学習への参加意欲、提出物 10%、活用する技術：表現、発表 30%			
授業計画	授業の内容		到達目標番号	
第1回	幼児教育における5領域「表現」の内容とねらいを知る、年齢別の子どもの特徴を知り、保育者として必要なことを考える 世界の幼児教育 オルフの幼児教育① 教育理念を知る 母国語の言葉とリズムの融合を中心に		(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④	
第2回	年齢別音楽表現活動について 幼児期の音域・声域 歌唱指導の注意点や工夫を考える 世界の幼児教育 オルフの幼児教育② 作成したリズムパターンを用いた遊びの展開を知り、実践する ト伴奏演習② 春の歌を中心に		コー	(1)-②,(2)-①
第3回	手遊び① 主要な手遊びを知る-数字を中心に- 世界の幼児教育 オルフの幼児教育③ オルフ楽器、五音階、オスティナートについて ト伴奏演習③ 春の歌を中心に リズム型の理解		コー	
第4回	手遊び② 主要な手遊びを知る-指の名前を中心に- 世界の幼児教育 オルフの幼児教育④ 即興アンサンブルの体験-オルフの即興アンサンブルの構成を理解する- 子どもの楽器① 楽器の紹介と演奏法			
第5回	手遊び③ 主要な手遊びを知る-静かにしたい時の手遊び の幼児教育 オルフの幼児教育⑤ 即興アンサンブルの発表 子どもの楽器② 「山の音楽家」を用いた楽器紹介と演奏法の指導案作成 ねらいと評価の確認 小太鼓演習① プリントNo.1		世界	(1)-②,(1)-③,(2)-①, (2)-③
第6回	手遊び④ 主要な手遊びを知る-身体の動きを使った手遊びを中心に の楽器③ 「山の音楽家」を用いた楽器紹介と演奏法の指導案作成-言葉の選択、表現方法を深める 小太鼓演習② プリントNo.2		子ども	(2)-①,(2)-③
第7回	手遊び⑤ 課題曲の提示と練習 もの楽器④ 「山の音楽家」を用いた楽器紹介と演奏法の指導案作成-視覚的教材の作成- 小太鼓演習③ プリントNo.3		子ども	(2)-①,(2)-②
第8回	手遊び⑥ 試験 もの楽器⑤ 「山の音楽家」を用いた楽器紹介と演奏法の作成-通し練習を行い、改善点を修正する- 小太鼓演習④ プリントNo.4 確認試験の課題曲の提示		子ども	(2)-④,(2)-⑤
第9回	子どもの楽器⑥ 「山の音楽家」を用いた楽器紹介と演奏法の作成 発表と振り返り 太鼓演習⑤ 確認試験の課題曲の練習 速度の指定 ト伴奏演習① 八長調・十長調・八長調のカデンツの確認		小 コー	(2)-④,(2)-⑤
第10回	合奏① 合奏の指導について、楽器配列、指揮法を理解する ② 打楽器のみの3歳児用の合奏 より良い合奏を目指すための指導工夫を考える 小太鼓演習⑥ 確認試験 コード伴奏演習② 春の歌を中心に単音伴奏、記譜法の確認			(1)-②,(1)-③
第11回	合奏③ 簡易クラシックを中心に 楽曲構成を知る、パート分け、パート練習 太鼓演習⑦ プリントNo.5 ト伴奏演習③ 春の歌を中心に和音伴奏		小 コー	
第12回	合奏④ 簡易クラシックを中心に 合わせて全体を把握する 小太鼓演習⑧ プリントNo.6 コード伴奏演習④ 春の歌を中心にリズム型伴奏 楽譜提出			

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第13回	合奏⑤ 簡易クラシックを中心に 適切な速度、表現記号を意識した演奏を行う 太鼓演習⑨ プリントNo.7 確認試験の課題曲の提示 伴奏演習⑤ 夏の歌を中心に単音伴奏	小 コード
第14回	合奏⑥ 仕上げ 動画撮影し、視聴して改善点を考える【ICT機器の活用】 小太鼓演習⑩ 確認試験の課題曲の練習 速度指定 コード伴奏演習⑥ 夏の歌を中心に和音伴奏	(2)-②,(2)-④
第15回	小太鼓演習⑪ 実技試験 楽器の正しい奏法のまとめと確認 コード伴奏演習⑦ 夏の歌を中心にリズム型伴奏 楽譜提出 期の総括	前 (2)-①
定期試験	実技試験	
第16回	合奏ー簡単な童謡曲やマーチを題材に① パート決め、パート練習 全体を通して各楽器の役割を考える 楽しく演奏するためにはどのような声掛けが必要か ド伴奏演習⑧ 秋の歌を中心に単音伴奏	コー (1)-②,(2)-①
第17回	合奏ー簡単な童謡曲やマーチを題材に② パート練習で演奏技術を高める 発想記号の確認 全体を通して旋律と伴奏のバランスを考える コード伴奏演習⑨ 秋の歌を中心に和音伴奏	(1)-②,(2)-①
第18回	合奏ー簡単な童謡曲やマーチを題材に③ 仕上げ【ICT機器の活用】 幼児の認識・思考、動きを視野に入れ楽しく演奏するために必要な指導方法のまとめ コード伴奏演習⑩ 秋の歌を中心にリズム型伴奏 楽譜提出	(2)-②,(2)-④
第19回	合奏ー複雑なリズムの作品に取り組み① 付点リズムやサンバのリズムに慣れる パート決め、パート練習でリズム確認 ド伴奏演習⑪ 冬の歌を中心に単音伴奏	コー
第20回	合奏ー複雑なリズムの作品に取り組み② パート練習で各楽器のリズムを揃える。全体を通し、リズムの正確さを徹底する ド伴奏演習⑫ 冬の歌を中心に和音伴奏	コー
第21回	合奏ー複雑なリズムの作品に取り組み③ 仕上げ【ICT機器の活用】 複雑なリズムを幼児に分かり易く指導する方法を探る コード伴奏演習⑬ 冬の歌を中心にリズム型伴奏 楽譜提出	(2)-②,(2)-④
第22回	童謡を用いた楽器遊びの展開と指導案の作成① 楽曲の研究ー構成別で分類し、展開方法を知る ド伴奏演習⑭ これまでのまとめ 課題曲の提示	コー (1)-②,(2)-①
第23回	童謡を用いた楽器遊びの展開と指導案の作成② グループ毎に選曲し、ねらい、使用楽器・遊びの展開を考える コード伴奏演習⑮ 課題曲の練習 流れを止めない伴奏を目指す	(1)-②,(2)-①
第24回	童謡を用いた楽器遊びの展開と指導案の作成③ 遊びの展開を深める 効果的な言葉掛けについて話し合う ものうたの作曲① 題材を決める、相応しい調の選択よりコード進行を設定する 楽器の選択	子 (2)-①
第25回	童謡を用いた楽器遊びの展開と指導案の作成④ 導入を考える 全体を通して動画撮影を行い、改善点を見つけ修正する【ICT機器の活用】 ものうたの作曲② 歌詞を作る 題材に合う言葉を選ぶ・オノマトペを使用する	子 (2)-②,(2)-④
第26回	童謡を用いた楽器遊びの展開と指導案の作成⑤ 指導案を完成させる 全体を通し最終確認を行う ものうたの作曲③ 歌詞の配置を行う 言葉に合うリズムの選択を考える	子 (2)-②,(2)-③,(2)-④
第27回	童謡を用いた楽器遊びの展開と指導案の作成⑥ 発表と振り返り 声の使い方、発表の姿勢について考える ものうたの作曲④ 歌詞に旋律を付ける コードを基本に考える	子 (2)-④,(2)-⑤
第28回	童謡を用いた楽器遊びの展開と指導案の作成⑦ 発表と振り返り 分かり易い説明、子どもの表現を受け止める姿勢について考える ものうたの作曲⑤ 試演し、改善点を見つける	こ (2)-④,(2)-⑤
第29回	童謡を用いた楽器遊びの展開と指導案の作成⑧ 発表と振り返り 保育者としてのより良い姿勢を考える ものうたの作曲⑥ 改善点の修正を行う、記譜の最終確認を行う	こ (2)-④,(2)-⑤
第30回	実技試験と振り返り、総括	(2)-④
定期試験	実技試験	